

事前評価個表

整理番号	64
------	----

地域（地区）名	ひのがわ 日野川地域	事業名	森林環境保全直接支援事業
計画策定主体	鳥取県	対象市町村	米子市ほか8市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地域の民有林野面積は77,428haで林野率は68パーセントとなっている。日野川上流部は「たたら製鉄」に使用する薪炭を生産していたが、戦後から拡大造林が盛んに行われ、新興林業地を形成するとともに、下流の米子市・境港市等の重要な水源地域となっている。また、大山山麓は天然林を活用したアカマツ林の整備が進められ、マツ材の産地となっている。さらに、本地域は素材生産から加工・流通に係る拠点施設の整備が進み、県産材の産地化が期待されている。</p> <p>本地域においては、長期にわたる人工林の造成により森林資源は着実に増加してきている一方で、木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等に伴い手入れが行き届かない人工林が増えているため、水源の保全や土砂崩壊の防止、木材生産など森林の持つ公益的機能の発揮に向けた継続的な保全が必要である。</p> <p>本計画では、間伐等の森林整備及び森林作業道等の基盤整備により良質の木材生産と同時に森林の有する多面的機能の持続的発揮を目指すとともに、他事業と連携した間伐材の利用を推進し、地域資源の有効活用と地域の振興を図ることを目的とする。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：9,744ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：2,059,550千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 8.00 (総便益(B) = 39,881,224千円、総費用(C) = 4,980,556千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：本計画における森林整備は、健全な森林づくりによる水源涵養、国土保全等の森林の公益的機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p> <p>森林は多様な機能を有しているが、これらの機能は一度失うと回復に長期間を要することから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。</p> <p>本計画では、森林の公益的機能の発揮に配慮した計画としているほか、効率性や有効性が認められることから、本計画を実施することは適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 日野川

鳥取県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	9,267,624	
	流域貯水便益	3,974,096	
	水質浄化便益	6,784,559	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,535,595	
	土砂崩壊防止便益	326,227	
環境保全便益	炭素固定便益	3,010,116	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	5,983,007	
総 便 益 (B)		39,881,224	
総 費 用 (C)		4,980,556	
費用便益比	$B \div C = \frac{39,881,224}{4,980,556} = 8.00$		

森林環境保全整備事業 日野川地域（鳥取県）概要図

